

高御位山

播磨アルプスの加古川市と高砂市の境にそびえる高御位山。古来、この山は貴重な地域資源である竜山石が露出していることから神聖視されてきました。標高 304 メートルの山頂からは、周囲を見渡すことができます。天気良ければ瀬戸内海の淡路島や四国まで見渡せます。

一年中登ることができるこの山には、様々な能力を持った登山客のために様々なコースが用意されています。最も人気のあるコースのひとつが、鹿島神宮の駐車場からスタートする全長約 8 キロの播磨アルプスコースです。初心者には難しいコースで、日陰も少ないので、真夏の登山は特に注意が必要です。

もうひとつの人気コースは、整備された成井コース。この 2 キロのコースは初心者や家族連れに適しています。山頂の高御位神社までは約 1 時間です。

高御位山は四季を通じて魅力があります。3 月中旬から 4 月中旬にかけては桜が満開になり、6 月から 7 月にかけては日本原産の珍しいササユリが見頃を迎えます。元旦には、山頂から初日の出を拝もうとする大勢の登山者のために、山頂まで成井コースの登山道がライトアップされます。この山は、この地域で一番の初日の出スポットにも選ばれています。